



KSR110, KSR / BIG フローティングディスクキット 取扱説明書

商品番号	06 08 1496		
適応車種およびフレーム番号			
KSR110	:KL110A	000001~	
KSR	:MX50B	000001~	
KSR	:MX80B	000001~	

- ・この度は、TAKEGAWA 商品をお買い上げ頂きまして有り難うございます。使用の際には下記事項を遵守頂きますようお願い致します。
- ・取り付け前には、必ずキット内容をお確かめ下さい。万一お気付きの点がございましたら、お買い上げ頂いた販売店にご相談下さい。

イラスト、写真などの記載内容が本パーツと異なる場合がありますので、予めご了承下さい。

～特長～

ディスク外径は 225 (KSR110 は純正ディスク外径 200、KSR は純正ディスク外径 220)

片押し 2POT キャリパーを付属。

専用キャリパーブラケットの為、フォークブラケット部が異なる KSR 、及び KSR110 の両車にブラケットのネジ位置を変更するだけで対応。

ディスクの材質は錆に強く耐久性の高いステンレス鋼を採用。

ローターハブは A7075S を採用。

ステンレスブレードホース及びバンジョーボルトを付属。

ご使用前に必ずお読み下さい

当製品にはブレーキ液が含まれておりません。別途ブレーキ液をご購入下さい。(DOT4 (BF 4) 以上)

ブレーキ液は銘柄の異なるブレーキ液を混用しないで下さい。(トラブルの原因及び化学変化の恐れがあります。)

このキットで使用されているバンジョーボルトのネジピッチは 10 x 1.25 です。取り付け前に使用するマスターシリンダーのネジピッチが同一である事を確認して下さい。

ブレーキの取り付け作業については、経験のある技術者に依頼し専用の設備、工具のある工場等で行って下さい。(事故につながる恐れがあります。) 車両に部品を取り付けた後、走行をする前にブレーキパッドがディスクにしっかり当たり、ブレーキが完全に効くまでブレーキレバーを操作して下さい。(この作業を無視する事により、事故につながる恐れがあります。)

新品のディスク、ブレーキパッド装着後はブレーキの効きが悪い状態です。効きに注意しながら走行を行って下さい。

取扱説明書に書かれている指示を無視した使用により事故や損害が発生した場合、当社は賠償の責を一切負いかねます。

この製品を取り付け使用し、当製品以外の部品に不具合が発生しても当製品以外の部品の保証は、どのような事柄でも一切負いかねます。

商品を加工等された場合や取り付けされた場合は、保証の対象にはなりません。

他社製品との組み合わせのお問い合わせはご遠慮下さい。

補修部品に付きましては商品内容横に記載しているリペア番号にてお申し込み下さい。尚、不明な点がございましたらお買い求め販売店にお問い合わせ下さい。

当製品の取り付け作業の際は、上記適応車種にあったカワサキ純正サービスマニュアルを必ず参照し確実に行って下さい。



注意

この表示を無視した取扱をすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容及び物的損害が想定される内容を示しています。

- ・一般公道では、法定速度を守り違法運転を心掛けて下さい。(法定速度を越える速度で走行した場合、運転者は道路交通法、速度超過違反で罰せられます。)
- ・作業等を行う際は、必ず冷間時(エンジンおよびマフラーが冷えている時)に行ってください。(火傷の原因となります。)
- ・作業を行う際は、その作業に適した工具を用意して行って下さい。(部品の破損、ケガの原因となります。)
- ・規定トルクは、必ずトルクレンチを使用し、確実に作業を行ってください。(ボルトおよびナットの破損、脱落の原因となります。)
- ・製品およびフレームには、エッジや突起がある場合があります。作業時は、手を保護して作業を行ってください。(ケガの原因となります。)
- ・走行前は、必ず各部を点検し、ネジ部等の緩みが無いかを確認し緩みがあれば規定トルクで確実に増し締めを行ってください。(部品の脱落の原因となります。)



警告

この表示を無視した取扱をすると、人が死亡したり重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

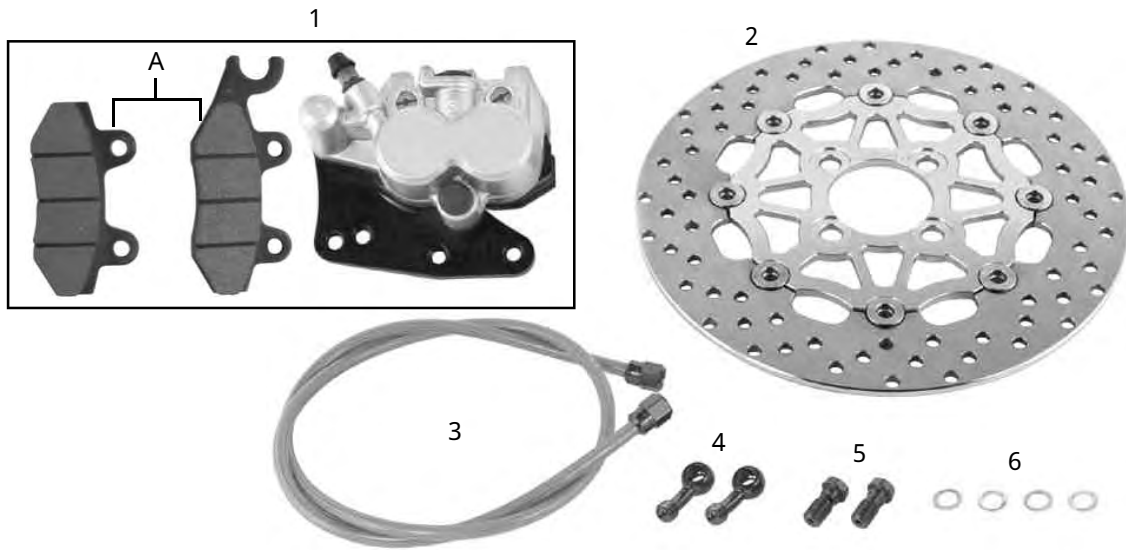
- ・ブレーキディスクローター及びブレーキパッドに油脂類を付着させない事。万一、付着した場合はパッドは交換し、ディスクローターは脱脂する事。
- ・損傷部品が見つければその部品は必ず新品と交換する事。

性能アップ、デザイン変更、コストアップ等で商品および価格は予告無く変更されます。あらかじめご了承下さい。

クレームについては、材料および加工に欠陥があると認められた商品に対してのみ、お買い上げ後 1ヶ月以内を限度として、修理又は交換させて頂きます。但し、正しい取り付けや、使用方法など守られていない場合は、この限りではありません。修理又は交換等にかかる一切の費用は対象となりません。

この取扱説明書は、本商品を破棄されるまで保管下さいます様お願い致します。

~ 商 品 内 容 ~



番号	部 品 名	数量	リペア品番	入数
1	フロントブレーキキャリパーASSY.	1	06 08 117	1
2	ディスクローター(225)	1	45200 KL1 T00	1
3	ブレーキホース(960mm)	1	02 01 0293	1
4	バンジョー(25°)	2	00 07 0037	1
5	バンジョーボルト	2	00 07 0038	1
6	シーリングワッシャ	4	00 07 0010	10
A	フロントブレーキパッドセット	1SET	06 08 0020	1SET

Aは1に含まれています。

リペアパーツは必ずリペア品番にてご発注下さい。品番発注でない場合、受注出来ない場合もあります。

あらかじめご了承下さい。

尚、単品出荷出来ない部品もありますので、その場合はセット品番にてご注文下さいませお願い致します。

~ 取 り 付 け 要 領 ~

1. キット内容を確認します。
2. 作業に適した工具を用意します。
3. レーシングスタンド等を利用し、車体を安定させます。
作業はKSR110を前提として作業を行っています。
4. フロントタイヤを浮かせる前に、キャリパー、コッタピン、アクスルナットを取り外します。
フロントを浮かせた状態で上記の作業を行うと車体が不安定になります。
キャリパーボルトは再使用します。



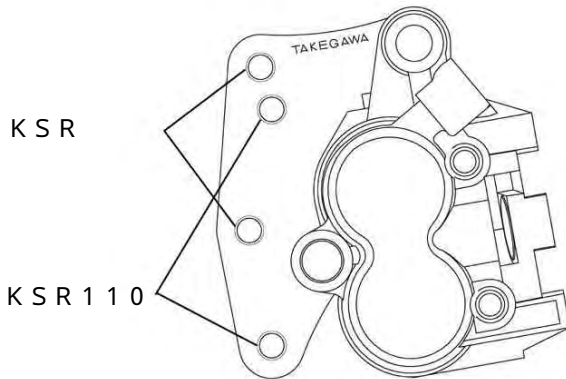
5. ブレーキ液を抜き取ります。
キャリパー、ブレーキホースを取り外します。
オイルボルトの取り外しにより、マスターシリンダー部より、ブレーキ液が漏れる可能性があります。
ブレーキ液が塗装部分やメッキ部分に付着すると、その表面のはく離や変色するなどの著しい損傷を与えます。付着したブレーキ液は直ぐに水等で洗い流して下さい。



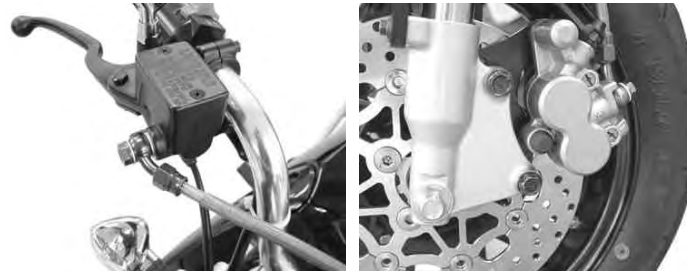
6. フロントはフロントアップスタンド又はジャッキ等を使用して浮かせた後、アクスルシャフトを取り外してホイールを取り外します。
必ず車体を安定させた状態で行って下さい。
7. ホイールからブレーキディスクを取り外します。
8. キット付属のディスクに交換します。
ディスクボルトにはネジロック剤を塗布して下さい。
トルク：27N・m(2.8kgf・m)
ブレーキディスクパッド当たり面は必ず脱脂して下さい。



9. スピードメーターギアハウジング内部の突起とホイールのギアドライブ切り欠きをかみ合わせます。ギアハウジングストッパをフォークのストッパの間に入れ、ホイールをフロントフォークに装着します。左側よりアクスルを取り付けアクスルナットを仮締めし、フロントスタンドを取り外します。
アクスルナットを規定トルクで締め付けます。
新しいコッタピンをアクスルナットに取り付けます。
トルク：64N・m(6.5kgf・m)
コッタピンは必ず新品に変え、取り付けを行って下さい。
10. キット付属のキャリパーを取り付けます。
キャリパー取り付け部にはそれぞれ専用の取り付け穴があります。
図を参考に取り付けして下さい。
トルク：25N・m(2.5kgf・m)



11. キット付属のバンジョーボルトにシーリングワッシャ、バンジョー、シーリングワッシャの順で通し、マスターシリンダー及びキャリパーに取り付けて仮締めします。
12. ブレーキホースを各バンジョーに取り付けます。バンジョーの取り付け角度、ブレーキホースの取り回しが決まれば、バンジョーボルト、ブレーキホースのフィッティングを規定トルクで締め付けます。



トルク バンジョーボルト
：13～15N・m(1.3～1.5kgf・m)
フィッティング
：5～6N・m(0.5～0.6kgf・m)

エア抜きは別紙ブレーキのエア抜き要領を参考に行ってください。
別途ブレーキ液をご購入下さい。

13. 部品を取り付けた後、各部を確認し、異常が無ければ試運転を行います。
新品のディスク、ブレーキパッド装着後はブレーキの効が悪い状態です。
効きに注意しながら走行を行って下さい。

株式会社 **SPECIAL PARTS** 武川

〒584-0069 大阪府富田林市錦織東三丁目5番16号

TEL 0721 25 1357

FAX 0721-24-5059

お問い合わせ専用ダイヤル 0721 25 8857

URL <http://www.takegawa.co.jp>

ブレーキのエア抜き要領

⚠ 注意

ブレーキ液補給時にゴミや水を混入させない事。
 銘柄の異なるブレーキ液を混用しない事。
 抜き取ったブレーキ液は再使用しない事。
 シーリングワッシャは再使用しない事。
 ブレーキ液は塗装、プラスチック、ゴム面を傷めるので部品類に付着させない事。
 ブレーキホースを外すなど油圧系統に空気が混入した場合は、油圧系統のエア抜きをする事。
 規定トルクは必ず守る事。
 ブレーキ液は必ず指定のブレーキ液を使用する事。

マスターシリンダーASSYの2本のフラットパンスクリューを外しマスターシリンダーキャップ、ダイヤフラムを外します。



キャリパーのブリーダーバルブに透明なブリーダーホースをつなぎホースの反対側に適当なカップなどで受ける様にします。



マスターシリンダーのオイルカップ部にブレーキ液を上限線まで補給します。

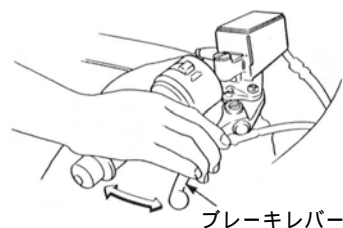


⚠ 注意：ゴミや水を混入させない事。

⚠ 注意：銘柄の異なるブレーキ液を混用しない事。

ブレーキ液 DOT4 (BF 4)

ブリーダーバルブを1/2回転緩め、ブレーキレバーを握る、放すを繰り返し、ブリーダーバルブからブレーキ液が充分出てくるまでこの操作を繰り返します。
 オイルカップのブレーキ液量に注意し新しいブレーキ液を補充しながら作業を行って下さい。



ブレーキレバー

⚠ 警告

ブレーキディスクローター及びブレーキパッドに油脂類を付着させない事。
 万一、付着した場合はパッドは交換し、ディスクローターは脱脂する事。
 損傷部品が見つければその部品は必ず新品と交換する事。

ブレーキレバーを握った状態のままにしてキャリパーのブリーダーバルブを締め付けます。
 ブレーキレバーをゆっくり戻し、完全に戻ったらそのまま数秒間放置します。

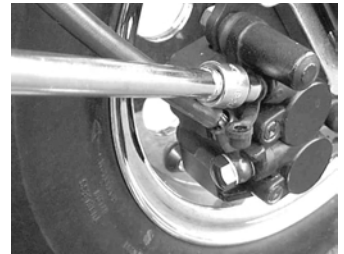


ブレーキレバーを握ったまま、キャリパーのブリーダーバルブを1/2回転緩めた後、再び締め付けます。

ブレーキレバーをゆっくり戻し、完全に戻ったらそのまま数秒間放置します。

ブリーダーバルブから気泡が出なくなるまで、この操作を繰り返します。
 時々、ブレーキ液量を確認し、下限線付近まで減少していれば補給します。

エアの混入がなければブリーダーバルブを規定トルクで締め付けます。



⚠ 注意：必ず規定トルクを守る事。

$T = 6 \text{ N} \cdot \text{m} (0.6 \text{ kgf} \cdot \text{m})$

オイルカップの上限線までブレーキ液を補充し、ダイヤフラム、マスターシリンダーキャップをフラットパンスクリューを用いて取り付けます。



⚠ 注意：ゴミや水を混入させない事。

⚠ 注意：銘柄の異なるブレーキ液を混用しない事。

ブレーキ液 DOT4 (BF 4)